

涌津地区 地域づくり計画書



平成28年7月
地域協働体
涌津まちづくり協議会

第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨

近年国内では、生活を取り巻く環境も変貌し、少子・高齢化の進行やそれに伴う人口減少社会の到来、価値観の多様化などにより地縁関係が薄れ、社会を取り巻く環境は大きく変化しております。

このことは、涌津地区でも同様であり、集落や地域活動への参加者の減少、高齢者のみの世帯の増加、子供たちの居場所づくり、防犯・防災の取り組みなど、様々な課題を抱えています。

今後ますます多様化する住民ニーズへの対応など課題は多く、新たな仕組みづくりが求められています。

そこで、涌津地区では、一関市が進める協働のまちづくりにより、平成27年4月23日集落公民館長、行政区長をはじめとした、様々な活動を行う団体と住民が互いに協力し行政と協働を図りながら、地域共通の課題の解決に努め、地域住民の連帯感と自治意識の向上を図り、地域の想いを実現することを目的とし「涌津まちづくり協議会」を設立いたしました。

さらに、平成28年度には住民アンケート調査結果を基に、「集落懇談会」、「ワークショップ」を開催し、涌津地区が将来どのような地域であるべきかを考え、この地域づくり計画書を策定いたしました。

「みんなの幸せな笑顔、永遠に輝く涌津」を地域づくりのスローガンとして掲げ、地域の声に耳を傾け、さらなる話し合いを重ねながら、積極的に活動していきたいと思えます。

平成28年7月

涌津まちづくり協議会
会長 佐々木 康博

第2章 地域の概要

1 地理と概況

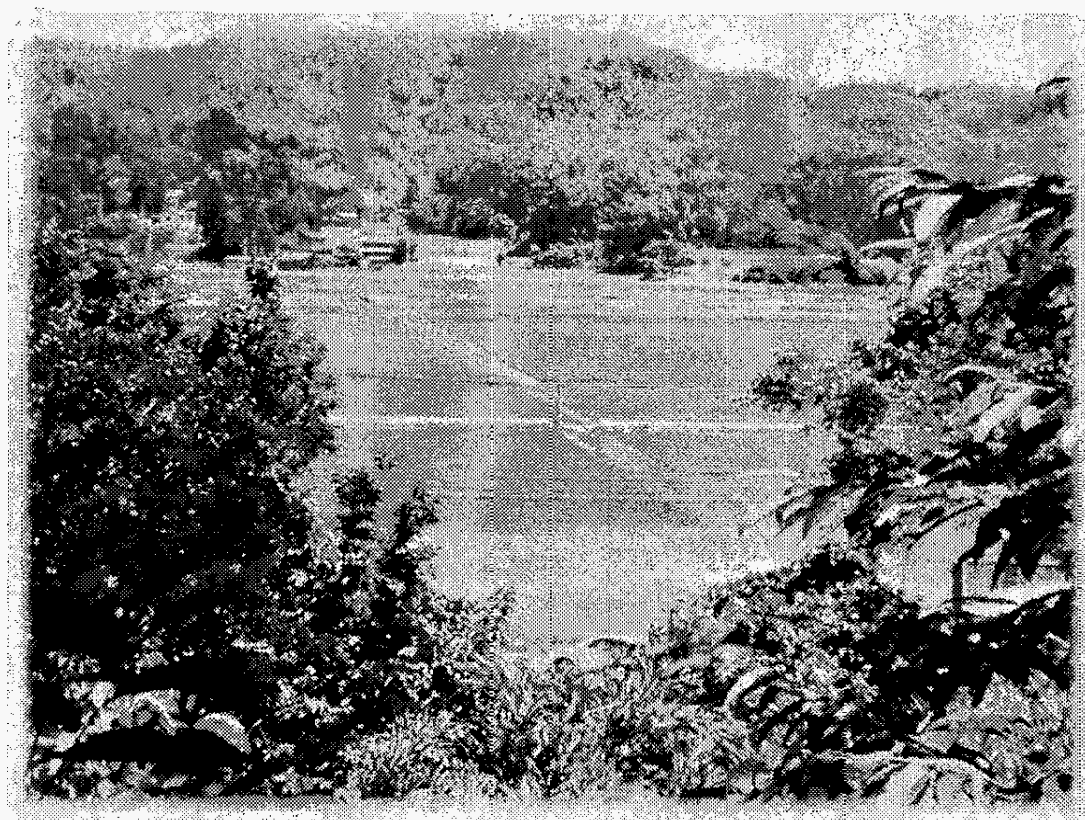
(1) 位置と概況、

私たちの住んでいる涌津地区は、昭和30年流れ地域6村（永井、涌津、油島、花泉、老松、日形）が合併し花泉町に、翌31年には金沢が加わり現在の花泉町となりました。さらに平成17年には花泉町と一関市、貞磐井3町2村が合併し一関市となり、平成23年藤沢町が新たに加わり、現在に至っています。

気候は温暖で、災害も少なく、北にJR花泉駅を中心とした商業と住宅が連立する密集地を形成し、南は岩手県最南端の地区「永井」に続いています。東には金流川、西に油田川・磯田川・夏川が流れ、流域には整備された広い水田と里山の緑豊かな穀倉地帯が広がり、田園と住宅地とで形成された自然豊かな地域として発展してきました。

(2) 面積

涌津地区	12.55k m ²	花泉町	126.83k m ²
------	-----------------------	-----	------------------------



《市民センターからの田園風景》

2 世帯数と人口

(1) 世帯数と人口の推移

涌津地区は涌津原集落から中新集落までの10集落からなり、平成28年3月31日現在、世帯数は1,148世帯、人口2,916人（男1,394人・女1,522人 高齢化率35.7%・少子化率10.53%）と少子高齢化が進んでおり、将来的にも人口の減少が予想されます。

①涌津地区の人口推移

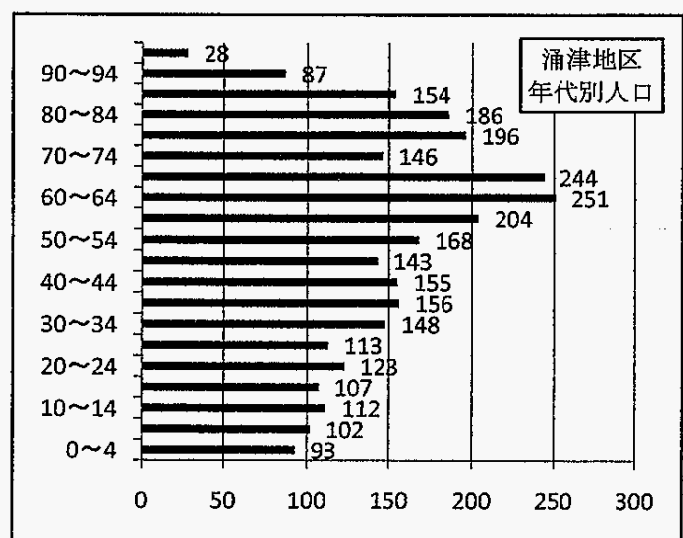
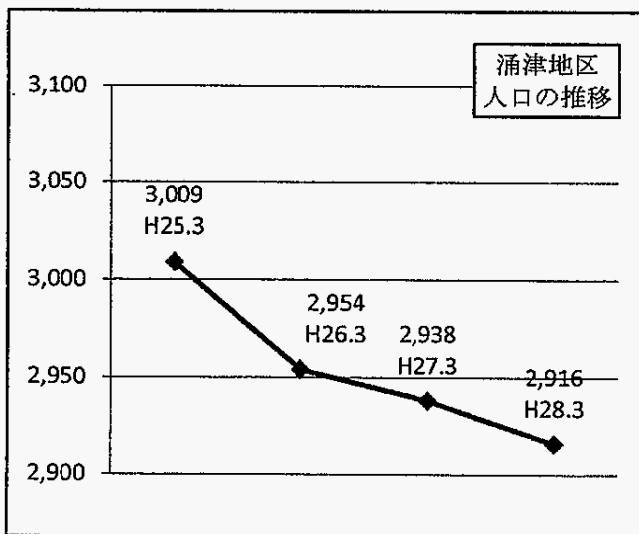
住民基本台帳 平成28年3月31日現在

	平成25年3月		平成26年3月		平成27年3月		平成28年3月		H25/H28対比増減	
	世帯数	人口合計	世帯数	人口合計	世帯数	人口合計	世帯数	人口合計	世帯	人口
道下	293	526	302	533	305	526	312	540	19	14
二ッ壇	218	550	219	549	219	551	221	557	3	7
境	100	266	96	251	100	250	94	240	-6	-26
熊ノ倉	53	186	52	175	51	173	52	168	-1	-18
白浜1・2	78	269	76	259	73	253	73	244	-5	-25
合ノ柴・亥年	92	297	91	292	92	288	92	282	0	-15
吉田・矢ノ目	95	322	97	317	94	305	99	305	4	-17
下町	86	251	86	249	85	247	86	243	0	-8
中町・新町	118	342	119	329	120	334	119	337	1	-5
合計	1,133	3,009	1,134	2,954	1,136	2,938	1,148	2,916	15	-93

②涌津地区の年齢別人口

住民基本台帳 平成28年3月31日現在

行政区	世帯数	人口合計	55歳以上 合計	準限界率	65歳以上 合計	限界率 高齢化率	14歳以下 合計	少子率	若年世代20~40歳
道下	312	540	266	49.26%	223	41.30%	58	10.74%	124
二ッ壇	221	557	277	49.73%	191	34.29%	63	11.31%	101
境	94	240	125	52.08%	87	36.25%	28	11.67%	47
熊ノ倉	52	168	80	47.62%	55	32.74%	16	9.52%	43
白浜1・2	73	244	131	53.69%	78	31.97%	21	8.61%	55
合ノ柴・亥年	92	282	149	52.84%	90	31.91%	31	10.99%	54
吉田・矢ノ目	99	305	151	49.51%	100	32.79%	32	10.49%	51
下町	86	243	139	57.20%	101	41.56%	21	8.64%	40
中町・新町	119	337	178	52.82%	116	34.42%	37	10.98%	65
合計	1,148	2,916	1,496	51.30%	1,041	35.70%	307	10.53%	580



第3章 涌津まちづくり協議会

1 涌津まちづくり協議会の設立経過

涌津まちづくり協議会は、地域住民相互の連帯感と自治意識の高揚を図りながら、受け継がれてきた豊かな歴史と文化を踏まえ地域課題の解決に努め、明るく豊かで住みよい地域づくりを推進することを目的に、平成27年4月23日発足しました。

設立経過報告

《平成26年度》

期 日	項 目	場 所	主 な 内 容	備 考
平成26年 2月17日	涌津地区協働のまちづくり学習会	涌津公民館	・電子紙芝居 ・協働のまちづくりの説明	20名参加
5月1日	涌津地区まちづくり懇談会	涌津公民館	・一関市地域協働推進計画について説明	15名参加
7月15日	涌津地区まちづくり協議会(仮称)設立準備会の設立及び第1回準備会	涌津公民館	・準備会規約の検討 ・役員を選出について	18名参加 市職員等8名
8月25日	第2回準備会	涌津公民館	・設立時の組織や体制 ・規約の素案について	15名参加 市職員等6名
9月25日	第3回準備会	涌津公民館	・規約について ・事務局や役員数を検討	17名参加 市職員等7名
10月28日	第4回準備会	涌津公民館	・規約の検討 ・組織構成図で内容確認	16名参加 市職員等6名
11月25日	第5回準備会	涌津公民館	・規約と組織図で確認 ・地区内の説明会の検討	14名参加 市職員等6名
12月9日	設立準備会だより第1号の発行 (準備会の設立内容と検討の経過)	《集落公民館長に各戸配達を依頼》		地区内 全世帯
平成27年 1月9日	設立準備会だより第2号の発行 (地区懇談会の開催のお知らせ)	《行政区長に各戸配達を依頼》		地区内 全世帯
2月7日	涌津地区まちづくり協議会(仮称) 地区懇談会	合ノ柴自治会館	・市民センター化の説明	7名参加
2月7日		涌津公民館	・設立準備会の検討経過	17名参加
2月8日		原集落公民館	・規約や組織について	4名参加
2月23日	第6回準備会	涌津公民館	・地区懇談会の内容 ・規約の再確認 ・名称(案)について	11名参加 市職員等6名

期 日	項 目	場 所	主な内容	備 考
2月26日	設立準備会だより第3号の発行 (班内の回覧で名称を伺う)		《行政区長に班内回覧と回収を依頼》	地区内 全世帯
3月16日	第7回準備会	涌津公民館	・名称を決定する ・設立総会の日程等協議	16名参加 市職員等6名
3月25日	設立準備会だより第4号の発行 (設立総会のご案内)		《行政区長に各戸配達を依頼》	地区内 全世帯
3月25日	設立総会の出席案内と理事・代議員 の推薦依頼発送		・47団体に郵便で送付 ・10団体に会議等で説明のうえ配付	57団体

《平成27年度》

期 日	項 目	場 所	主な内容	備 考
4月14日	第8回準備会	涌津市民センター	・設立総会資料等確認	16名参加
4月23日	涌津まちづくり協議会設立総会	涌津市民センター		50名参加
6月26日	地域協働体「涌津まちづくり協議会」 設立届け出			
10月14日	三役会議	涌津市民センター	・第1回役員会について	
10月22日	第1回役員会	涌津市民センター	・平成27年度総会について ・平成27年度の事業スケジュール ・地域協働推進員の推薦について	
11月5日	涌津まちづくり協議会通常総会	涌津市民センター	・平成27年度事業計画 ・規約の一部改定	
11月10日	住民アンケート調査実施		《行政区長に各戸配布依頼 1120世帯に配布》	552件回収
平成28年 1月7日	第2回役員会	涌津市民センター	・平成27年度役員研修について ・住民アンケート回収結果について ・今後のスケジュールについて	
1月15日	涌津小学校児童アンケート調査実施		・涌津の未来を考えてみよう！ 《涌小4.5.6年生68名に依頼》	68件回収

期 日	項 目	場 所	主な内容	備 考
2月6日	涌津まちづくり協議会役員研修	涌津市民センター	いちのせき市民活動センター センター長 小野寺浩樹氏 「地域づくりの計画策定」	32名参加
3月10日	三役会議	涌津市民センター		
3月17日	第3回役員会	涌津市民センター	・今後のスケジュールについて ・部会の検討について	

《平成28年度》

期 日	項 目	場 所	主な内容	備 考
4月2日	集落懇談会 中新集落	涌津市民センター	「涌津まちづくり協議会」を知っていただくとともに 「なぜ今まちづくりなのか」を理解していただくため 開催しました。	25名参加
4月3日	集落懇談会 白浜第1集落	白浜会館		15名参加
4月7日	集落懇談会 熊ノ倉集落	熊ノ倉集落公民館		20名参加
4月10日	集落懇談会 亥年集落	亥年生活改善C		21名参加
4月17日	集落懇談会 涌津原集落	涌津原集落公民館		60名参加
4月24日	集落懇談会 吉田集落	吉田集落公民館		18名参加
	集落懇談会 下町集落	涌津市民センター		45名参加
	集落懇談会 合ノ柴自治会	合ノ柴自治会館		22名参加
6月2日	第1回ワークショップ	涌津市民センター		涌津の将来像・夢を語ろう
6月9日	第2回ワークショップ	涌津市民センター	夢を実現させましょう	19名参加
6月15日	第1回役員会	涌津市民センター	夏まつりについて	
6月16日	第3回ワークショップ	涌津市民センター	夢を実現させましょう	22名参加
6月23日	第4回ワークショップ	涌津市民センター	ワークショップのまとめ	21名参加
6月30日	第2回役員会	涌津市民センター	・地域づくり計画について ・平成28年度総会について	

第4章 涌津地区地域づくり計画

1 方針

(1) 目的

「明るく豊かで住みよい地域づくり」

(2) 目標

地域住民の連帯感と自治意識の高揚を図りながら、受け継がれてきた豊かな歴史と文化を踏まえ地域課題の解決に努め「明るく豊かで住みよい地域づくり」を推進することを目標とする。

(3) 分野別項目とスローガン

地域づくりスローガン

「みんなの幸せな笑顔、永遠に輝く涌津」

1、地域コミュニティ 「みんなございん！新しい涌津」

(1) コミュニケーション

(2) 少子高齢化

(3) 地域行事

2、産業振興 「生活と雇用の交流のある涌津」

(1) 農業

(2) 商業

(3) 雇用

(4) 地域資源

3、教育・文化・スポーツ 「元気ハツラツ、涌津ファミリー」

(1) 教育

(2) 文化

(3) スポーツ

4、安心・安全 「安全、安心して楽しい涌津」

(1) 防犯

(2) 防災

(3) 交通安全

5、福祉・健康 「生涯現役！ボケないまち涌津」

(1) 高齢者

(2) こども

(3) 健康

6、生活環境 「しがらみがなく、こざっぱりとした涌津」

(1) インフラ

(2) 環境衛生

(3) 環境整備

2 分野別計画（地域の課題・解決策）

この分野別計画は、平成27年度に実施した住民アンケート調査の結果を基に、各集落、組織、団体から推薦いただいた皆さんと、気軽に話し合える場「ワークショップ」において、涌津地域の課題と解決の方策を整理したものです。

具体的な事業展開にあたっては、各集落、組織、団体、行政、協働体役員、地域の皆様方と協議を重ねながら取り組んでいくものです。

また、この計画は、涌津地域の皆さんの参加と協力をいただきながら、年度ごとに協議を行い実施していくものです。

1、地域コミュニティー

(1) コミュニケーション

①地域コミュニケーションの希薄化

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・知らない人が多い、話しかけても嫌がられる ・コミュニケーションが不足している ・コミュニケーションが少なくなってきた、このままでは孤立する人が出てくる ・以前のような隣組との繋がりが希薄になってきた ・集落内のコミュニケーション ・いじめによる集落環境の悪化 ・思いやりの心が無くなってきている ・異年齢交流 ・各集落の老人クラブの活動内容に差が出てきており、涌津全体の老人クラブへの参加も減少している 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の世話役を増やす（お節介おじさん、おばさん） ・みんなが参加し楽しめる行事の実施 ・高齢者の集える場やお茶のみ場を作る ・集落公民館の開放（行けば誰かいる、自由に使える） ・市民センターに靴を脱がないで入れるコーナーを ・飲みケーションでコミュニケーションを図る

②意識の差の広がり

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・意見の集約が難しい ・協力性がない 親しみがない 一体感がない 田舎の割には人任せな地域 ・地域の一員としての意識が低く、自己中心的な住民の増加 ・若年層との意識のギャップをどう埋めるか、地域活動にどう引き込むか ・農村部と駅前地区との、地域の格差・温度差 ・過疎・貧富の差 ・回覧が多すぎる（緊急性のあるものを優先してほしい） ・一人ひとりが主役という意識が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たち主体とした地域づくり（小学校位の子供がいるときは行事に出ている） ・集落の枠を超えて集まる場を作る

③世代交代の難しさ

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・役員選出が課題、役員が高齢化してきているし役員のなり手がいない ・若者の意見が反映されない 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的にリーダーを育成する ・涌津ふるさとサポーター（後継者）を育成する ・会議に若者を出す

④冠婚葬祭の負担の大きさ

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・冠婚葬祭の簡素化 ・寄付金の負担 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のしきたり等によるので、長期的に検討しながら取り組んでいく

(2) 少子高齢化

①未婚者の増加

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・嫁不足・出会いの場不足 ・未婚者が多い ・若者の遊ぶところがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人たちが主体となってイベントを開催する ・出会いの場を作る（町コンとか） ・青・成年（同世代）の集まりの場を作る

②空き家・耕作放棄地の増加

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、放置土地の有効活用 ・空き家の増加 ・隣接している住民にとって迷惑 ・家を継ぐ者がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・空家の調査を実施し若者などに貸し出す（移住にもつながる） ・空家を青・成年会等の集まりの場として利用 ・空家を有効活用することで環境が良くなる（人口増）

③環境整備の困難

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・女性や高齢者ひとり暮らし世帯が増加し、自宅や所有地の維持管理が困難 ・高齢者世帯のため私道が老朽化しても費用が掛かるため直ちに直せないでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・涌津地区シルバー人材センター（仮称）の設置 ・作業できる人を集め有償ボランティア

④共同作業への支障

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による道路・河川の清掃作業に支障が出始めている ・毎月の集落公民館掃除が高齢化、人口減少のより大変だ ・草刈り作業の参加が悪い ・足腰が弱って地域行事に参加したいができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落を超えて働ける人に働いてもらう ・出れない時には事前に作業を行う ・ポイント制にする

(3) 地域行事

①参加者の不足・偏り

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・地区民大運動会の人員確保が困難であり、急に運動するためか怪我が多い ・小中学生や若者の行事参加が少ない ・地域行事に対する参加者の偏り 若い世代の参加が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供連れで参加できる行事の開催 ・子供みこし等の参加を他集落にも声掛ける（交流） ・みんなでBBQ大会（一品もちより） ・若い人たちを誘う

②現行行事継続への不満

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・行事が重なり参加者がばらける、行事の見直しが必要 ・地域の行事等に人が集まらない スポーツ大会等（人口が減っているのに従来通りの行事では無理がある） ・行事などに自由に参加できる環境がない ・駐車場の少ない、狭い 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種大会等の集落単位の見直し（集落合同チーム） ・元旦歩け歩け大会を昔のように全集落合同で開催（小学校集合、ラジオ体操、くじ引き実施） ・涌津ならでの「まつり、イベント」の開催 ・駐車場の確保（空地を利用）

2、産業振興

(1) 農業

①担い手不足

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・農業人口が減ってきている ・後継者不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の企業化・6次産業化 ・収入の確保・給料制 ・空地、空家をハウスに転用 ・田んぼや山林を利用し地ビールの原料栽培（麦・ホップ） <p>農商工連帯 異業種交流</p>

(2) 商業

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・商業面が弱い ・個人商店の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの効果的利活用を図る（無くさない努力） ・産直の復活と内容の充実 ・産直、コンビニを隣接させ道の駅化する（周辺も活性化する） ・旧道利用しホコ天（朝市、夜市の開催）

(3) 雇用

①若者の就労場所の乏しさ

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・若者の就労場所の確保 労働人口の流出 ・働く場が少ないため若者が定住しない、そのため子供も少なく、活気がない ・年齢にあった仕事がない ・定年退職後の就労場所の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動購買車、買い物代行、宅配弁当、配食サービス ・技術者の町の復活

(4) 地域資源

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい環境や自然が生かされていない ・活性化につながるものが何もない ・地域に宝（紫館公園や悪法師堤等）が手入れされていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・涌津の名物、涌津ブランドを作る ・磐乃井レストラン（体験型施設） ・地ビール着手 ・地場産品を使って涌津ライスバーガー ・悪法師堤を整備し水辺公園を作る（ボート遊び）

3、教育・文化・スポーツ

(1) 教育

①子供たちの教育環境

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後・長期休暇等の居場所・学習環境が乏しい ・市民センターわくわく広場を子供たちは楽しみにしているが、親としては参加させにくい日程だ 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわく広場の充実（回数を増やす、時間延長、休日開催や、木曜以外の開催日を設ける）

②社会学習の機会の不足

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の外に出ないと地域のことを客観的に見ることが難しいため、涌津ですずっと暮らしてきた人たちが涌津の地域づくりを考えるのは大変 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターで学習の機会を設ける

(2) 文化

①伝承芸能の継承

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・熊ノ倉神楽は継承者がおらず、ほぼ消滅状態に陥っている（神楽を踊れる人もいなく、熊ノ倉神楽がどんなものだったのかわからなくなっている） ・白浜神楽は現在継承されているが、指導者が高齢化し次世代への継承が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊ノ倉神楽復活プロジェクトとして、ルーツを探り踊りを復活させる、演者（後継者）は熊ノ倉住民に限らず、広く地域内に呼びかける

②歴史の継承

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・涌津にどんな偉人がいるかなど、涌津の歴史を知らない ・郷土の保全、管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・涌津の歴史や偉人を発掘し子供たちに伝えていく ・昔の行事や祭りの映像を探し、涌津の歴史を学ぶ

③文化的施設

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・文化的施設の不足（小規模でも質の良い施設） 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合後の涌小校舎を利用し、資料館やジムを設置

(3) スポーツ

①スポーツ環境

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間のスポーツ環境 ・若者男女利用できるスポーツジムがない ・運動する場所がない（バスケ等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由にスポーツしたり、遊べる場の確保 ・小学校の体育館を地域で管理し自由に使用させて ・クリーンセンターの広場復活 ・ゲートボール、グラウンドゴルフを子供たちにも

②地区民大運動会・球技大会

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・地区民大運動会のチーム編成が難しくなっている ・参加しにくい種目しかない ・中学校→小学校→地区民大運動会と連続して開催され参加しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区民大運動会、球技大会の内容・日程の見直し ・運営側の世代交代

4、 安心・安全

(1) 防犯

①夜間の通行への不安

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・街路灯が少なく、道が暗い ・街路灯が故障している 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路沿いの家にイルミネーション推奨（明りで防犯） ・街路灯・防犯灯の調査（点検整備、設置の見直し、増設の要望）

②盗難被害

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・家の周りに置いてある物が無くなっている時がある ・日中人が少ない時間に安全面に不安がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロールの実施（こども見守り隊と合わせて実施する）

③子供を犯罪から守る

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に徒歩で通学できる子供がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時間帯に散歩、畑仕事などをし見守る ・見守り、パトロール隊（涌津見守り隊）の結成（パトロール用マグネット、ベストなどを作成） ・子供たちの防犯教育（こども 110 番の家など）

(2) 防災

①不測の事態が発生した時の対応への不安

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし世帯の増加により火災等が不安 ・防災放送が聞こえない ・防災訓練が実施されていない ・どのように避難したらいいかわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落単位で防災教室、防災訓練の実施 ・消防団員の知識向上と訓練

②住民の防災（防犯も含め）意識の低さ

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識が低い・乏しい ・避難ルール・マナーがわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器の点検を兼ねての消火訓練 ・20歳以上の男女はすべて消防団員に

(3) 交通安全

①横断歩道の少なさ

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道がない（矢ノ目バス停十字路） ・歩道の未設置箇所が多く、高齢者にとっては危険だ ・油島～涌津への道、歩道がない、朝夕は通勤車両や大型トラック多く危険だ 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全施設や危険箇所の点検実施（行政へ要望）

②車の交通マナーの悪さ

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・速度超過、ボリューム大、マフラー改造等の車、週末にはカーレース ・暴走運転する車が未だに多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・看板を設置し啓発活動 ・高齢者向けの交通安全教室開催

③道路状況の悪さ

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・道路、住宅内の陥没 ・道幅が狭い箇所がある 舗装箇所が少ない 道路の状態が悪い ・歩道の除雪 ・冬期間の路面凍結 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の点検実施（行政へ要望） ・集落単位に実際に歩いて点検パトロール

④通学路の危険

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・通学路が立木で見通しが悪い箇所がある ・道路沿いの木が倒れそうになっている箇所がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の点検実施（行政へ要望） ・集落単位で危険箇所の点検パトロール

5、 福祉・健康

(1) 高齢者

①移動手段

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・今は運転できるが、体調の悪い時や運転できなくなった時のことが心配 ・車がないので外出できないし、暮らして行けない ・磐井病院への直通定期バスの運行（福祉バスは利用できないのか） ・車の運転ができないので病院等は大変 ・近所に店がなく車がないと買い物に困る 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンドバスの運行や、スクールバスの利用 ・有償ボランティアで、タブレットなどを利用した送迎サービスを展開する ・移動購買車を走らせる ・当事者に実情や必要な支援を聞いてみる ・統合後の涌小を利用し集合住宅や商業施設として利用する

②見守り

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯の見回り 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居世帯（高齢者2人世帯、日中独居世帯含め）の見守り、支援体制の整備 ・電話機の消防署への直通機能を持たせる ・高齢者に携帯を配布し、普段から家族などと連絡が取れやすいようにしておく（携帯で連絡を取り合うこと、詐欺防止にもなる） ・介護教室

(2) こども

①遊び場の不足

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・子供が元気に遊んだり、集まったりする場所がない ・子供が安心して遊べる場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・壊れた遊具などを撤去し空地にし、遊び場にする ・花公園にローラー滑り台

②子育て環境

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・子供を地域で育てようという気持ちが足りない 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の居場所づくり ・子供を地域で育てると意識の向上

(3) 健康

課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・健康教室など平日開催で参加できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教室の休日開催 ・集落公民館ごとの健康に関する勉強会開催 ・スポーツジム

項目	具体的活動	実施期間				
		28	29	30	31	32
地域コミュニティー	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のリーダー、ふるさとサポーター(後継者・世話役)の育成 ・わくつ夏まつりの開催 ・子供たちを主体とした地域づくり ・空家の調査と有効活用 ・元旦歩け歩け大会の涌津地区合同開催(涌小集合ラジオ体操、くじ引き) 					→
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・産直復活と内容の充実 ・農業、商業の活性化と後継者対策 ・シルバー人材センターの設立検討 ・地場産品を使った涌津の名物、涌津ブランド作成(涌津ライスバーガーコンテスト開催) ・磐乃井との地域活性化懇談会開催 ・地域の宝(悪法師堤、雷神森、紫館公園等)の観光開発 					→
教育・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの居場所・遊び場づくり ・涌津の伝承芸能(白浜、熊ノ倉神楽)の継承 ・地域の歴史や偉人の発掘と継承 ・運動会とスポーツ大会の内容、日程の検討 ・スポーツ環境の整備 					→
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所(防犯、防災、交通)点検しマップ作製 ・見守り隊、パトロール隊の結成 ・子供を犯罪から守る活動 ・集落単位の防犯、防災訓練の実施 					→
福祉・健康	<ul style="list-style-type: none"> ・独居世帯(高齢者2人世帯、日中独居世帯含む)の見守り、支援 ・介護教室の開催 ・健康教室の開催 ・移動支援 					→
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの足の確保、有償ボランティアの設立 ・ゴミ出し隊の結成と定期的なパトロールの実施 ・ゴミ出しルールの指導、勉強会の開催 ・生ゴミのリサイクル推進 					→

※ この表は、「ワークショップ」で話し合われた地域づくり計画の中で、優先順位の高いものを項目ごとにまとめたものです。

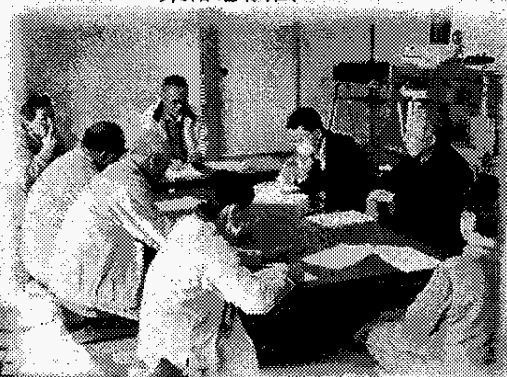
第5章 資料編

- 1 涌津まちづくり協議会組織構成図
- 2 涌津まちづくり協議会役員、理事名簿
- 3 涌津まちづくり協議会代議員名簿

《役員研修会 2月6日》

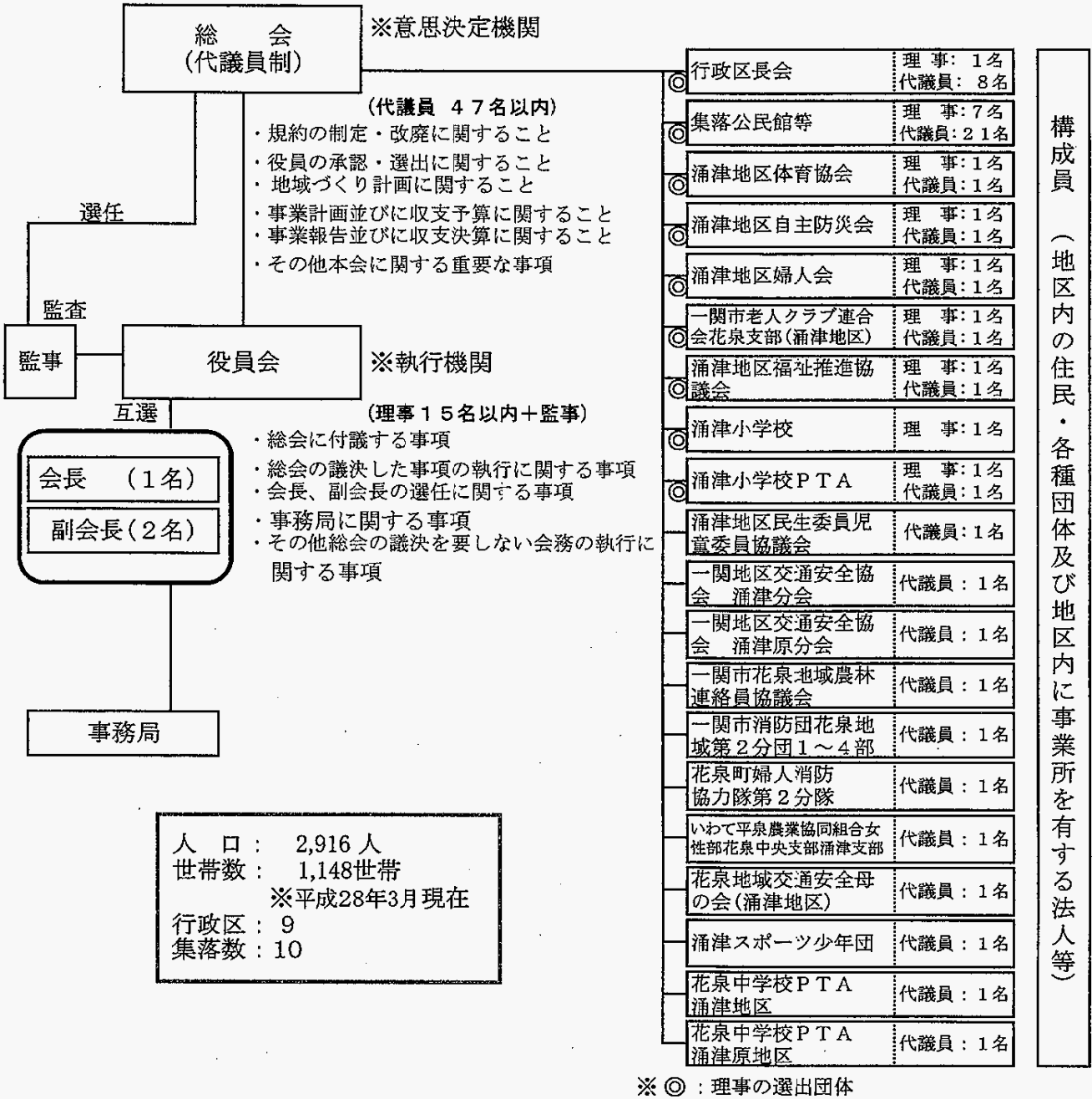


《集落懇談会》



《ワークショップ》

涌津まちづくり協議会 組織図



注意

- ① 集落公民館等の理事は、(白浜1と白浜2)(矢ノ目と吉田)(合ノ柴と亥年)の集落から各1名。他の4集落から各1名で計7名。
- ② 集落公民館等の代議員は、原集落は3名。他の9集落は各2名で計21名。
- ③ 涌津小学校は理事のみとし、代議員はなし。
- ④ 理事や代議員の選出は各団体から推薦のあった者があたる。
- ⑤ 代議員を選出できる団体の追加は、申し出により役員会に諮り総会で決定する。